



# 取扱説明書

**TIGA**  
SUB4



日本語



日常用車いす 取扱説明書  
Issue No: 17|2020

交換部品が必要ですか？  
当社のオンラインストアをご利用ください。 [www.rgkwheelchairs.com/stores](http://www.rgkwheelchairs.com/stores)

# RGKをお選びいただきまして 誠にありがとうございます。

ご期待以上の製品とサービスをお届けできたことと願っております。  
ご使用前に、必ず同梱の取扱説明書をよくお読みいただき、新しいRGK車いすの操作方法に慣れ、  
最高の性能と耐久性を発揮できるようご確認ください。

## **警告：**

この取扱説明書を読まず、理解していない状態で、この製品を操作しないでください。警告や指示を理解できない場合は、この機器を使用する前に 医療専門家（医師 / セラピスト）に連絡してください。さもないと、人身事故や装置の損傷につながる恐れがあります。

## 車いす設定クイックガイド：

1. ホイールと緩んでいる部品を取り付けます。例：クッション
2. シートの張り調整を行い、姿勢を保つためにできるだけきつく張って調整してください。
3. 必要に応じてフットレストを調整し、できるだけ快適に過ごせるようにしてください。
4. 車いすが正しく機能し、快適に座れることを確認してから、起伏のある地形や屋外に出かけましょう。



製造元である RGK Wheelchairs は、  
軽量車いすが 93/42/EEC/ 2001/47/  
EEC ガイドラインに準拠していることを宣言  
します。

車いすの使用、メンテナンス、安全性についてご不明な点がございましたら、RGKまたはお近くのRGK認定販売店にお問い合わせください。

Sunrise Medical GmbH & Co. KG  
Kahlbachring 2-4  
69254 Malsch/Heidelberg, Deutschland  
Tel.: +49 (0) 7253 /980 -0  
[www.SunriseMedical.de](http://www.SunriseMedical.de)

# 内容

4	特記事項	21	手順 1
4	本書で使用される用語の定義 車いすの選択	21	背布の調整/交換
4	車いすの選択	22	手順 2
5	輸送	22	座シートの張替え
5	安全に関するまとめ	23	手順 3
5	安全に関するまとめ	23	後輪を取り外し、車いすへの着脱
5	環境	24	手順 4
5	指はさみ	24	クイックリリース式車軸ピンの調整
6	筋肉トレーニング	25	手順 5
6	安定性とバランス	25	ハンドリムの交換
7	一般的な安全上の注意と運転制限	25	後輪、タイヤ、チューブの修理/交換
9	耐用期間	26	手順 6
10	RGK ティガ 手動車いす 製品	26	キャンバーバーの調整 / 交換
10	製品について	27	手順 7
11	RGK Tiga 手動車いす	27	フォークアセンブリーの交換
12	識別番号/シリアルナンバー -	27	前輪キャストホイールの交換
13	車いすの安全な取り扱い	28	手順 8
13	傾ける	28	ブレーキ - 調整/交換
14	方法 1	29	手順 9
14	方法 2	29	フットレストの角度を調整
15	手を伸ばす、体を傾ける、曲げる - 前方へ	29	フットレストの調整/交換
15	他の座席への移動および元の座席へ戻る	30	手順 10
16	他の座席への移動	30	背もたれをコードサポートで折りたたむ
17	ホイールベースの延長と短縮	31	手順 11
18	安全点検チェックリスト	31	高さ調整式プッシュハンドル
19	トラブルシューティング ガイド 機械構造	31	フリップダウン プッシュハンドル
20	メンテナンス	31	プッシュハンドル ねじ止め
20	推奨されるメンテナンス手順	32	手順 12
		32	転倒防止の調整
		33	手順 13
		33	サイドガードねじ止め
		33	折りたたみ式サイドガード
		33	着脱式サイドガード
		33	フリップバック サイドガード
		34	高さ調整式アームレストの調整
		34	溶接式サイドガード
		35	製品仕様(技術的データ)
		36	リサイクル(再利用)/廃棄
		37	保証
		37	保証

# 特記事項

RGK 車いすを取り扱う際、および使用する際に損傷を防ぐため、取扱説明書をよくお読みください。

## 本書で使用される用語の定義

### 注意：

一般的な忠告または最善のやり方

### △ 注意：

注意事項に従わない場合、機器に損傷を与える可能性があります。

### △ 危険！

注意事項に従わない場合、重傷事故または死亡事故が発生する可能性があります。

### △ 警告：

注意事項に従わないと怪我をする危険性があります。

### 注意：

この文書に記載されている情報は、予告なしに変更される場合があります。

### △ 警告：

フットレストの位置、キャンバーアックスル、高さ、そして背もたれの張り具合は、車いすの安定性に直結します。この3つのうち、どれか1つ、あるいはどれか1つの組み合わせを変更すると、車いすの安定性が低下する可能性があります。新しいシートポジションを初めて使用する際は、細心の注意を払ってください。

## 車いすの選択

車いすの製造メーカーとして、RGK はエンドユーザーのさまざまなニーズに応える、幅広い車いすの提供に努めています。個人が使用する車いすの種類 of 最終的な選択は、使用者とそのような選択をすることができる医療専門家のみが行うことができます。

車いすに乗り降りする際に、フットプレートを足場として使用しないでください。

シートベルトは、推奨されている場合は必ず着用してください。

本取扱説明書に示され、説明されている車いすは、細部に至るまでお客様のモデル機種とアクセサリに完全に一致するとは限りません。

ただし、すべての指示は完全に有効であり、注文時に追加された内容に関わらず適用されます。

RGK 車いすの予想寿命は、1 人のユーザーによる通常の使用で 2 年です。車いすの予想寿命は、何よりも使用者の障がい の程度と車いすのメンテナンスによって異なります。車いすの寿命は、使用者によって上記よりも短くなったり長くなったりする場合があります。

RGKが正式に承認していない限り、第三者の部品を車いすに使用したり、取り付けたりしないでください。

## タイヤ圧

適正なタイヤ空気圧(P.S.I)でなければ車いすを使用しないでください。

タイヤに空気を入れ過ぎないでください。これらの指示に従わないと、タイヤが破裂して人体に危害を及ぼす恐れがあります。

# 安全に関するまとめ

ユーザー体重に加え、車いすに載せて運ぶ全ての物を含め、決して 最大荷重を超えないでください。最大荷重を超えると、RGK 車いすに永久的な損傷を与えるほか、転倒、転覆、制御不能となり、ご自身や第三者に重大な怪我を負わせるおそれがあります。

## 輸送

### △ 警告：

#### 車いす車載用固定装置およびシートベルト

- RGK は、車いすをご利用のお客様は、車いすのまま車両に乗車しないことをお勧めいたします。
- RGK は、車いすのユーザーは、輸送のために自動車内の適切な座席に移乗し、自動車メーカーが提供する固定装置(シートベルト等)を使用すべきであるとの立場を取っています。
- RGK は、車いす輸送システムについて、いかなる推奨も行うことはできません。
- シートベルトを含む固定装置に関しては、販売業者、セラピストその他の医療従事者は、ユーザーがこの機器を安全に操作するためにシートベルトを含む固定装置が必要かどうかを判断する義務があります。
- 車いすから転落すると、重傷を負うおそれがあります。
- 車いすに乗り降りする際に、フットプレートを足場として使用しないでください。

## 環境

### △ 警告：

極端な高温または低温の場所に製品を放置すると、表面が熱くなったり冷たくなったりして、人身事故の原因となることがあります。

### △ 警告：

本製品やその付属品を、過度の熱や裸火にさらさないでください。

## 指はさみ

### △ 警告：

本製品には可動部があるため、指を挟む恐れがあります。移動の際は細心の注意を払うこと。

## 筋肉トレーニング

RGK は車いすをウェイトトレーニング器具として使用することを推奨していません。RGK製品は、いかなるウェイトトレーニング用のシートとして設計、テストされていません。利用者が当該車いすをウェイトトレーニング器具として使用した場合、RGK は身体の負傷について責任を負わず、保証は直ちに無効となります。

## 安定性とバランス

車いすを安定させ、正しく操作するためには、常に適切なバランスを保つ必要があります。車いすは、重心位置 (COG) を超えない限り、通常の日常生活において直立し、安定した状態を保つように設計されています。車いすの上での動きを伴うほぼすべての活動は重心位置 (COG) に影響を与えます。

車いすの「安全と取り扱い」については、車いす使用者本人だけでなく、介助者も細心の注意を払う必要があります。この取扱説明書は、車いすの安全な操作およびメンテナンスに関する最も一般的な手順とテクニックについて記載しています。これらの安全な技術を練習し、マスターすることが重要です。これにより、頻繁に遭遇する構造物による障害を回避する際に、スムーズに操作できるようになります。この情報は「基本的な」ガイドとしてのみご使用ください。以下のページで説明されるテクニックは、多くのユーザーによって実際に効果的に活用されています。車いすを使用している方は、この取扱説明書に記載されているものとは異なる、日常生活を送るための独自のスキルを身につけている場合があります。RGKは、個人が直面する建築上の障害を克服するために、それぞれが最も適した方法を探求し試みることを認識し、奨励しています。この取扱説明書に紹介されているテクニックは、車いす使用者および介助者にとって、安全を第一に考慮した出発点となるものです。

# 安全に関するまとめ

前傾姿勢をとるときは、必ずキャスターが後方に向いていることを確認してください。車いすを前進させ、直線で反転させるとキャスターが後方に向きます。

図 1 参照



車いすの操作方法を習得することで、日常的な障害による苛立ちをある程度軽減することができます。重心位置(COG)を意識して、安定性とバランスを保ちましょう。

## △ 警告：

フットレストの位置、キャンパーチューブ、高さ、そして背もたれの張り具合は、車いすの安定性に直結します。この3つのうち、どれか1つ、あるいはどれか1つの組み合わせを変更すると、車いすの安定性が低下する可能性があります。新しいシートポジションを初めて使用する際は、細心の注意を払ってください。

# 安全に関するまとめ

## 一般的な安全上の注意と運転制限

この車いすのエンジニアリングと構造は、最大限の安全性を提供するために設計されています。現在適用されている国際安全規格は、部分的に満たしているか、あるいは超えています。しかし、車いすの使い方を誤ると、ユーザー自身が危険にさらされる可能性があります。お客様の安全のために、以下のルールを厳守してください。

専門外の、あるいは誤った変更や調整は事故の危険性を高めます。車いすユーザーもまた、他の人と同じように道路や舗道での日常的な通行人の一員なのです。そのため、すべての交通法規が適用されます。

この車いすに初めて乗るときは特に注意してください。

車いすについて知ってください。

毎回使用する前に、以下を確認してください：

- 後輪のクイックリリース式 車軸ピンは固定されている
- シートと背もたれのベルクロ
- タイヤ、タイヤ圧、ブレーキブレーキ

この車いすの調整部分を変更する前に、取扱説明書の該当箇所を読むことが重要なことです。

特に上り坂や下り坂では、地面にくぼみや凹凸があると、この車いすは転倒する可能性があります。段差や傾斜を正面から乗り越える際は、体を前傾させてください。

## △ 危険！

使用者の体重に加え、車いすに載せて運ぶ全ての物を含め、決してティガ サブ4の最大荷重 110kgを超えないでください。軽量オプションは別途お見積もりとなりますので、重量情報にご注意ください。最大荷重を超えると、車いすの破損につながったり、転倒、落下、制御不能になり、使用者や他の人に重大なケガを負わせたりする可能性がありますので、ご注意ください。

## △ 警告：

窒息の危険 - この移動補助器具には小さな部品が使われており、状況によっては小さなお子様が窒息する危険があります。

- 身体障害者用の特別仕様車での移動中は、可能な限り、車両の座席に座り、適切な固定器具を使用してください。万が一の事故の際、ユーザーを最大限に保護するための唯一の方法です。
- 転倒や危険な状況を避けるために、まずは見通しのよい平らな場所で新しい車いすの使い方を練習してください。
- この車いすは、一度に一人の人を搬送するためだけに使用されるべきです。それ以外の使用は、意図された使用目的に合致しません。
- 車いすに乗り降りするときは、フットプレートを使わないでください。移乗する前に、フットプレートは跳ね上げておき、できるかぎり外側に開いておいてください。
- キャスターの直径や設定、車いすの重心位置（COG）設定によっては、高速走行時にキャスターがふらつき始めることがあります。キャスターがブロックされ、車いすが転倒することがあります。そのため、キャスターが正しく調整されていることを確認してください。（「キャスター」の章を参照）
- 特に、ブレーキなしで傾斜地を走行したり、速度を落として走行したりしないでください。この製品は、最大速度10km/hまで試験済みです。高速走行時、ユーザーの車両の仕様や体格・身体能力によっては、予期しないキャスターの揺れが発生する可能性があります。これにより、ユーザーが怪我をする可能性があります。
- 斜面や傾斜地に横向きに走行すると、車いすが横向きに転倒する可能性が高くなります。
- 重心を変えることで、車いすの動きにどのような影響があるのかを探ります。例えば、傾斜地、スロープ、あらゆる勾配、障がい物を乗り越えるときなどです。誰かに安心できる方に手伝っていただいて行ってください。
- 慣れていない方は、転倒防止チューブの使用をおすすめします。

# 安全に関するまとめ

- 転倒防止チューブは、車いすが不用意に後方に倒れるのを防ぐものです。どのような場合であっても、トランジットホイール（輸送用車輪）の代わりとなり、リアホイール（後輪）を外して車いすに乗った人を輸送するために使用してはいけません。
- 極端な設定（後輪が1番前のポジションに設定されている等）や、姿勢が悪いと、平らな場所でも転倒することがあります。
- 坂道や段差を上るときは、上半身をより前方に傾けます。
- 坂道や段差を下るときは、上半身をより後方に傾けます。
- 車いすのプッシュハンドル、ヘッドレスト、背もたれには、買い物袋やリュックサックなどの重いものを掛けないでください。これらによって転倒点が変わり、後方に転倒する危険性が生じます。
- 車いすの前方、側方、後方にあるものに手を伸ばすときは、車いすから大きく身を乗り出さないように注意してください。重心位置が変わると、転倒や横転の危険性があります。
- 車いすを使用する際は、十分に注意してください。例えば、ブレーキをかけずに障がい物に突進したり（段差、縁石）、段差を飛び降りたりすることは避けてください。
- 階段の昇降は、必ず介助者の手を借りて行ってください。スロープやリフトなど、お客様をサポートする設備がありますので、ご利用ください。もしそのような設備がない場合は、車いすを傾けて押し、段差を乗り越えてください。（2名の補助）
- 一般的に、転倒防止チューブは、予め段差に接触しないように設定しておく必要があります。そうでなければ、大きな転倒につながりかねません。その後、転倒防止チューブを正しい位置に戻す必要があります。
- 介助者が車いすを持つ際は、しっかりと取り付けられた部品のみを掴むようにしてください。（例、フットレストやサイドガードなどではなく）
- 昇降スロープを使用する場合、取り付けられている転倒防止チューブが危険範囲の外にあることを確認してください。
- 凹凸のある場所や移動の際は（例 車の中へ）、ブレーキを使用して車いすを固定してください。
- 高位切断者の場合は、必ず転倒防止チューブを使用してください。
- お出かけ前に、タイヤの空気圧が適切であることをご確認ください。後輪の場合、少なくとも 3.5 bar（350 kPa）である必要があります。最大空気圧はタイヤに表示されています。
- ニーレバーブレーキは、タイヤ空気圧が十分で、正しく設定された場合にのみ機能します。（「ブレーキ」の章を参照）
- ブレーキは、走行中の車いすを止めるためのものではありません。車いすが不用意に転がり始めないようにするためのものです。不安定な場所で停まる場合は、意図せぬ動きを防ぐために、必ずブレーキを使用してください。必ず両側のブレーキをかけてください。さもないと、車いすが転倒する可能性があります。
- ブレーキは、移動する車いすのブレーキとして使用するようには設計されていません。
- いつもエレベーターやスロープをお使いください。これらが利用できない場合は、誰かに助けを求めるべきです。車いすにしっかりと固定されている部分のみを握るようにしてください。転倒防止チューブが装着されている場合は、折りたたんでおきましょう。車いすは、人が乗った状態で、持ち上げられるべきではありません。必ず押されるべきです。
- 座布と背布が破損した場合は、すぐに交換する必要があります。
- 車いすをバックチューブやプッシュハンドルで持ち上げたり、運んだりしないでください。
- 車いすの本来の用途や構造を変更する、許可されていない電子機器、電動式または機械式の移動装置、ハンドバイク、その他の装置を取り付けしないでください。
- 他の医療機器との組み合わせは、サンライズメディカルの承認が必要です。
- 火気、特に火のついたタバコに注意してください。座布と背布は、可燃性です。
- 後輪にクイックリリース式車軸を使用している場合は、必ず正しくセットしてロックしてください。クイックリリース式車軸のボタンを押さないと、後輪を取り外すことはできません。
- 特に軽量の金属製ハンドリムを使用した場合は、速い速度からブレーキをかけた時や長い坂道で指が熱くなりやすくなります。

# 安全に関するまとめ

- 直射日光に長時間さらされると、車いすの一部（フレーム、レッグレスト、ブレーキ、サイドガード等）が高温（41℃以上）になることがあります。
- 手の怪我を防ぐため、車いすを走行するときはスポークの間や、後輪とブレーキの間をつかまないでください。
- 屋外で車いすを使用する場合は、必ず革手袋を着用してください。革手袋はグリップ力を高め、指を汚れや過熱から保護します。
- 10°以上の傾斜地では車いすを使用しないでください。
- 動的な安全傾斜は、車いすの構成、ユーザーの能力、車いすの乗り方により異なります。ユーザーの能力や、乗り方が分からないと、最大安全傾斜は決められません。そのため、転倒を防止するために、介助者の補助のもとユーザー自身が判断する必要があります。経験の浅いユーザーには、転倒防止の使用を強くお勧めします。
- ぬかるみや凍結した地面では車いすを使用しないでください。
- 歩行者の立ち入りが禁止されている場所では車いすを使用しないでください。
- すべての可動部品には、指はさみの危険が自然に伴います。お取り扱いにはご注意ください。
- 車いすは大雨、雪、滑りやすい路面、不安定な路面では注意して使用してください。
- 危険な環境では車いすを使用しないでください。

## 耐用期間

この製品の期待される耐用年数は 5年です。

## 注意：

- ブレーキの効果や一般的な走行特性は、タイヤの空気圧に左右されます。後輪の空気圧が正しく、両輪が同じ圧力であれば、車いすは格段に軽くなり、操縦しやすくなります。
- タイヤの溝が十分であることを確認してください。
- 公道で運転する場合は、いっさいの交通法規に従わなければならないことにご注意ください。
- 暗い時は、明るい服装や反射する衣類で、見えやすいように工夫してください。反射部分が、車いすの側面と後ろからはっきり見えることを確認してください。また、アクティブライトの装着もおすすめします。
- 車いすを扱うときや調整するときは、常に指に注意してください！
- 本書に記載されている製品は、お客様がお持ちの機種と細部まで完全に同じでない場合があります。しかし、すべての指示は、詳細の違いに関係なく、すべて完全に関連しています。
- 製造元は、本書に記載されている重量、寸法、その他の技術データを予告なく変更する権利を有します。本書に記載されている数値、寸法、容量は概算であり、構成要素となる仕様ではありません。
- 車いすの調整、特にブレーキ、転倒防止、背もたれなどの安全性に関わる部品の調整は、必ず正規販売店で行ってください。
- ハンドバイク、電動補助などの追加の移動補助装置を使用する場合は、車いすにその用途に適したキャストフォークが装備されていることを確認してください。

# 日常用 手動車いす

## 製品について

手動式車いすは、障がいや慢性疾患により移動能力が低下または喪失した幅広いユーザーに適しています。当社の製品は、航空宇宙グレードのアルミニウム、チタン、またはクロムモリブデン鋼を素材に、手作業で丁寧に組み立てられています。選択したモデルに応じて、オープンフレームとクローズドフレームの2種類のフレームデザインからお選びいただけます。どちらのフレームも、軽量で汎用性の高い車いすです。デザインには、経験豊富なユーザー向けの最軽量のオプションを求める方々に適した一体型のキャンパーバーとフットレスト、または調整可能なキャンパーバーと高さ調整式フットレストと組み合わせて処方可能なフレームが採用されています。シザーまたはプッシュブレーキ、張り調整式座シート、バックレスト、カーフストラップは全て標準装置です。その他のオプションも多数ご用意しています。

この設計は、ティガ サブ4の最大重量110kgまで、様々な障がいのある全ての年齢層のユーザーに対応します。適格性は、障害の程度と性質に依存し、資格を有する医療従事者またはRGKスタッフによる徹底的なクライアントリスク評価を通じて決定される必要があります。この車いすは、身体可動性が低下または喪失した人が、ある場所から別の場所に移動するための移動手段として使用するためのものです。その他の目的には使用しないでください。

処方時に、使用者の能力、製品が使用される環境および地形を考慮し、必要な使用方法について適切な判断を行う必要があります。

RGK Wheelchairs Ltd 社が製造する日常用車いす製品は、クラス 1 医療機器として CE マークを取得しており、医療機器指令 93/42/EEC の必須要件に準拠しています。

定義上、すべての車いすは医療機器として販売されています。ここで「医療機器」とは、単独で、または組み合わせて使用され、その適切な使用に必要なソフトウェアとともに、以下の条件を満たす器具、装置、材料、その他の物品を意味します。それらは、

(a) 製造業者が、人間が使用する目的で製造したもので、以下の目的のために使用されるもの。

- (i) 病気の診断、予防、経過観察、治療、または症状の緩和
- (ii) 診断、経過観察、治療、傷害またはハンディキャップの軽減または補助
- (iii) 解剖学または生理学的過程の調査、交換、変更、または
- (iv) 受胎調節; および

(b) そのような手段によってその機能が補助されている場合でも、人体内または人体において、薬理的、免疫学的または代謝的な手段によってその主要な意図された作用を発揮しないもの。

\* 医療機器指令 93/42/EEC より引用した定義

## ティガ サブ4

新生児と同じ重さの、最軽量のアルミ製車いす。

ホイールとクッションを除き、4kg未満を保証。

アルミニウム7020フレームを採用し、ティガから72点の設計変更を施しています。

- |                      |                           |
|----------------------|---------------------------|
| <b>A</b> - バックレスト    | <b>G</b> - フットプレート カバー    |
| <b>B</b> - ブレーキ      | <b>H</b> - キャンバー アクスル(車軸) |
| <b>C</b> - リアホイール    | <b>I</b> - フレーム           |
| <b>D</b> - キャスターホイール | <b>J</b> - シート下 補強バー      |
| <b>E</b> - キャスターフォーク | <b>K</b> - クッション & カバー    |
| <b>F</b> - フットプレート   | <b>L</b> - サイドガード         |



# 識別番号 / シリアルナンバー

お客様のオーダーメイド車いすのシリアル番号は、シート下のクロスブレースバー( J 製品説明)またはキャンバーバー( H 製品説明)、または背もたれの背布(A)に記載されています。

交換部品のご注文の際は、以下の情報をお知らせください。

シリアルナンバー :
お名前 :
代理店 :



識別番号ステッカー  
(キャンバーアックスルにあります)

## RGK 車いす ラベル情報

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| A - 機種          | F - 製造会社連絡先番号  |
| B - 車いすシリアルナンバー | G- 製造会社メールアドレス |
| C - 製造月         | H- 耐荷重         |
| D - 製造年         | I - ホームページ     |
| E - 製造会社住所      |                |

# 車いすの安全な取り扱い

## △ 警告：

車いす介助者の方へ

取り外し可能な部品を持って、車いすを持ち上げないでください。

車いすの取り外し可能な部品を使って持ち上げると、あなたや介助者、使用者、および車いすに損傷を与えるおそれがあります。

## 注意：車いす介助者

車いす利用者に介助が必要な場合は、正しい体の使い方を心がけてください。車いすを傾けたり、縁石やその他の障害物を越えるときは、背筋を伸ばし、膝を曲げてください。

## 傾ける

車いすを傾けるときは、介助者は車いすの背もたれ部分で取り外し不可能な（取り外しできない）部分をつかんでください。

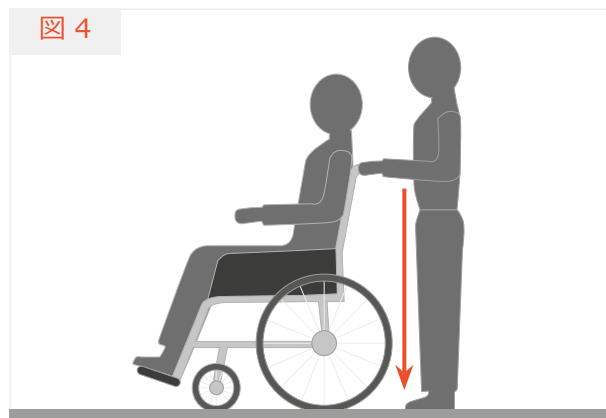
車いすを傾ける前に、車いすに乗っている人にその旨を伝え、背もたれに寄りかかるよう伝えてください。

車いすに乗っているの足と手がすべての車輪から離れていることを確認してください。バランスポイントが得られるまで、連続した動作を行います。

この時点で、介助者は荷重の分散に違いを感じます。必要に応じて、車いすを目的の方向に向けます。車いすをゆっくりと、1回の動作で降ろします。図 4 参照

最後の数センチで、車いすを落下させないでください。これにより、ユーザーにけがを負わせる可能性があります。

図 4



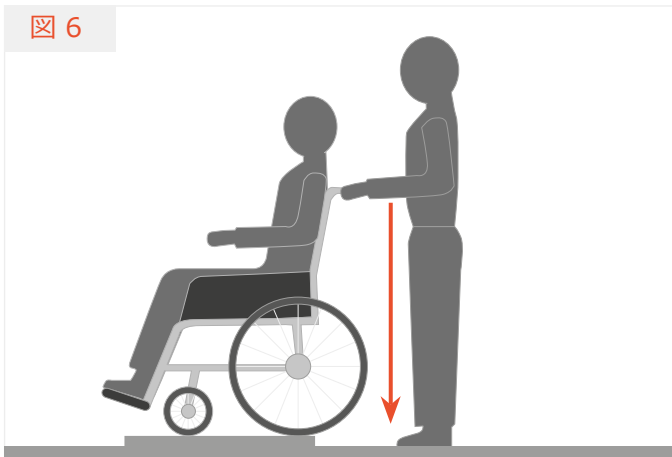
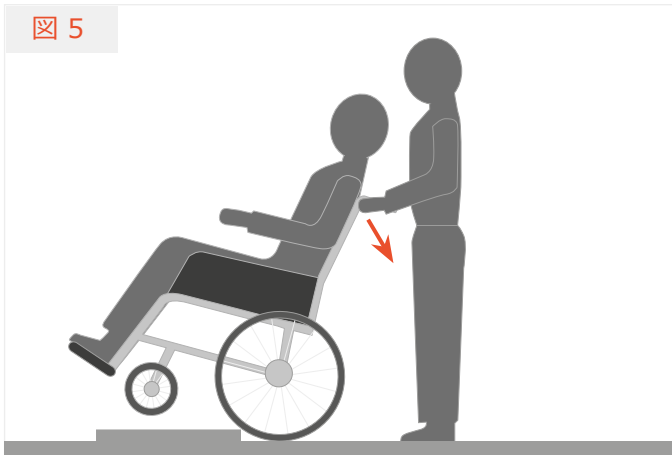
## △ 注意：

補助がない状態で、車いすを傾けないでください。車いすの傾けるテクニックを習得したら、この手順で縁石や短い階段などに対応してください。

# 車いすの安全な取り扱い

## 方法 1

介助者は、前輪が縁石から離れるまで車いすを傾ける必要があります。車いすを前方に転がし、前輪のキャスターを歩道に降ろします。後輪が縁石を越えるまで車いすを前方に押しします。図 5 と 図 6 参照

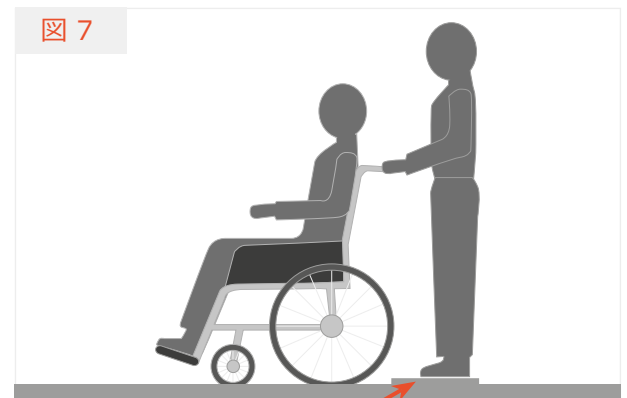


## 方法 2

介助者は歩道に立ち、車いすの後輪が縁石に接するように回転させます。車いすをバランスポイントまで傾け、後輪を1つの連続した動きで縁石の上に乗せます。図 7 参照

車いすの背もたれを縁石から十分に離すまで、前輪キャスターを地面に戻さないでください。

介助者の上半身の筋力が並外れて優れていない限り、方法2を選択する際は2名の介助者を配置することを推奨します。



### △ 警告：

取り外し可能な部品を持って、車いすを持ち上げないでください。例：ホイール車いすの取り外し可能な部品を使って持ち上げると、使用者に怪我を負わせたり、車いすを損傷したりするおそれがあります。

### △ 警告：

人が乗った車いすを階段で昇り降りさせる場合は、細心の注意を払ってください。RGKは、2名の介助者を配置し、十分な準備を行うことを推奨します。手持ち支持部には、必ず安全で取り外せない部品のみを使用してください。

# 車いすの安全な取り扱い

## 手を伸ばさず、体を傾ける、曲げる

車いすの前、横、後ろにある物を取り出すときは、車いすからあまり体を乗り出さないようご注意ください。重心が変化し、転倒したり、安定やバランスを崩して転倒する危険があります。

### △ 警告：

背もたれにノートパソコンの入ったバッグやリュックなどの追加の荷物を掛けたりすると、車いすの後方安定性に影響を与える場合があります。これにより、車いすの前部が浮き上がり、車いすが後方に転倒し、怪我や物的損害の原因となるおそれがあります。

### △ 危険！

車いすを階間移動するためにエスカレーターを使用しないでください。重大な人身事故や物的損害の原因となるおそれがあります。

## 他の座席への移動および元の座席へ戻る

### △ 警告：

車いすへの乗り降りを行う前に、間の距離を縮めるためのあらゆる予防措置を講じてください。両方のキャスターを後方位置に回し、移動先の対象物にできるだけ近づけてください。また、ブレーキが確実にロックされていることを確認し、車輪が動かないようにしてください。

### △ 注意：

移乗する際は、ブレーキがかけられていることを確認し、シートの前方に座ってください。これにより、生地の損傷や車いすが前方に転倒する危険性を防ぎます。

### △ 警告：

移乗する時は、フットプレートの上に立たないでください。

# 車いすの安全な取り扱い

他の座席への移動および元の座席へ戻る

## △ 警告：

RGK は、車いすに乗ったまま階段を上り下りすることを推奨しません。

## △ 警告：

取り外し可能な部品を持って、車いすを持ち上げないでください。車いすの取り外し可能な部品を使って持ち上げると、あなたや介助者、および車いすに損傷を与えるおそれがあります。

## 注意：車いす介助者

車いす利用者に介助が必要な場合は、正しい体の使い方を心がけてください。車いすを傾けたり、縁石やその他の障害物を越えるときは、背筋を伸ばし、膝を曲げてください。

## 注意：

この活動は、十分な移動能力と上半身の筋力があれば、単独で行えます。車いすを、移動先の座席のできるだけ近く、前輪が座席の方を向くように置き、ブレーキをかけます。体重を移動させて座席に移ります。

1人で移乗する間、あなたの下には殆ど何も無い状態になります。可能な限り、トランスファーボードを使用してください。

## △ 警告：

シートの前方に移動したり、膝の間から下に手を伸ばして床の物を拾おうとしたりしないでください。

## △ 警告：

フットレストの位置、キャンバークラップ、後座高、そして背もたれの張り具合は、車いすの安定性に直結します。この4つのうち、どれか1つ、あるいはどれか1つの組み合わせを変更すると、車いすの安定性が低下する可能性があります。新しいシートポジションを初めて使用する際は、細心の注意を払ってください。

多くの活動では、車いすの所有者は、手を伸ばしたり、体を曲げたり、車いすに乗り降りしたりする必要があります。これらの動きにより、通常のバランス、重心位置、および車いすの荷重分散が変化します。この車いすを実際に使用する前に、資格のある医療従事者の立ち会いのもと、体を曲げる、手を伸ばす、移乗などの動作をいくつかの組み合わせで練習し、ご自身の安全限界を確認してください。

適切なポジショニングは安全のため不可欠です。手を伸ばす、体を傾ける、前かがみになる際には、前輪キャスターを安定性とバランスを維持するためのツールとして使用することが重要です。図 9 参照

図 9



# 車いすの安全な取り扱い

## △ 警告：

車軸の位置を変更すると、重心や安定性に影響を与える可能性があります。

### ホイールベースの延長と短縮

ホイールベースを延長することで、安定性が向上し、車いすの標準的な操作性が維持されます。

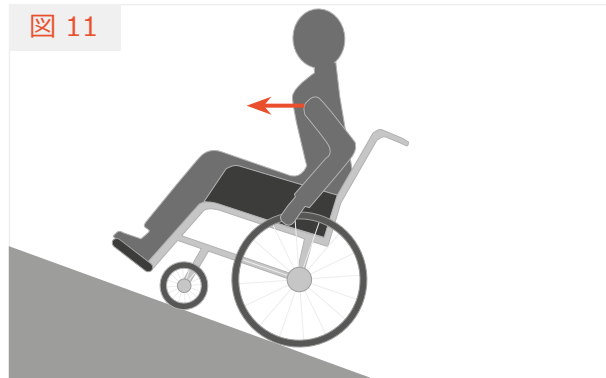
ホイールベースを短縮すると、操縦性が向上し、余分な重量が後輪に分散されます。  
ホイールベースを延長するには、キャストバーをフレームの後方へ移動させてください。

ホイールベースを短くするには、キャストバーをフレームの前方へ移動させてください。

坂道や段差を上るときは、上半身をより前に傾けます。

図 11 参照

図 11



坂道や段差を下るときは、上半身をより後ろに傾けます。

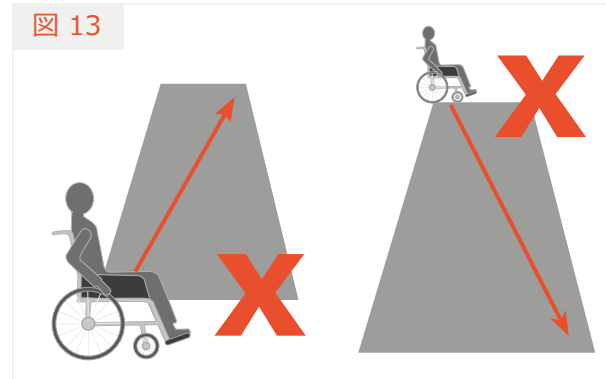
図 12 参照

図 12



決して対角線上に傾斜を上ったり、下ったりしないでください。図 13 参照

図 13



## △ 警告：

新しい車いすを操作する前に、これらの操作方法を練習し、慣れるまで十分に習得しておくことが重要です。

## △ 警告：

走行中、減速のためにハンドリムを使用すると、ハンドリムが熱くなることがあります。下り坂を走行する際は、特に注意が必要です。

## △ 警告：

傾斜面を横断すると、車いすの安定性に影響が出る場合があります。傾斜面では細心の注意を払うこと。

# 安全点検チェックリスト

## 注意：

定期的にお手入れをすることで、部品の緩みや磨耗が目立たなくなり、車いすのスムーズな操作性が向上します。車いすを正しく安全にお使いいただくためには、他の乗り物と同じようにお手入れをしていただく必要があります。定期的なメンテナンスは車いすの寿命と効率を延ばします。最初の調整は、個人の体の構造や好みに合わせて行う必要があります。その後、以下のメンテナンス手順に従ってください。以下 概要：

アイテム	使い始め	点検/ 調整 毎週	点検/ 調整 毎月	点検/ 調整 毎年
<b>一般事項</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>車いすは真っすぐ進む（過度の引きずりや片側への引っ張りがない）</li> <li>フレームの亀裂、損傷を点検する</li> <li>すべての留め具が固定されているか点検する</li> </ul>	✓			✓ ✓
<b>ブレーキ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>車いすを漕ぐ時にタイヤに干渉していないか点検する</li> <li>支点到摩擦や緩みがない</li> <li>ブレーキが簡単に掛けられる</li> </ul>	✓ ✓ ✓		✓ ✓ ✓	
<b>座布と背布（張地）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>裂け目やたるみがないか点検する</li> <li>留め具のフラップ（張り出し部分）を点検し、しっかりとロック（留まる）している</li> </ul>	✓ ✓		✓	✓
<b>リアホイール（後輪）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>調整可能なアクスル(車軸)ポジション キャンバーバーはしっかりと締め付けられている</li> <li>クイック/クアド リリース アクスル(車軸)は適切に固定されている</li> <li>持ち上げて回転させても、過度の横揺れや ひっかかりがない</li> </ul>	✓ ✓ ✓	✓ ✓	✓	✓ ✓
<b>ハンドリム</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>表面のざらつきや剥がれを点検する</li> </ul>	✓			✓
<b>スポーク</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>曲がったり、折れたスポークがないか点検する</li> <li>すべてのスポークは均一に締められている</li> </ul>	✓ ✓		✓ ✓	
<b>前輪キャスター</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>キャスターを回転させ、ホイール/フォーク アセンブリーに適切な張力があるか点検する。キャスターは徐々に停止するはずである。</li> <li>ホイールが著しくふらついたり、引っかかって止まったりする場合は、ロックナットを緩める/締める。</li> <li>ホイール ベアリングは清潔で、水分がないこと</li> </ul> <p>注意：他の車両と同様、ホイールとタイヤは亀裂や磨耗がないか定期的に点検し、必要に応じて交換すること。</p>	✓ ✓ ✓	✓ ✓	✓	✓
<b>タイヤ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>薄い箇所、空気が抜けている箇所や磨耗の点検</li> <li>空気入りタイヤの場合、空気圧が適切かどうか確認する</li> </ul> <p>注意：他の車両と同様、ホイールとタイヤは亀裂や磨耗がないか定期的に点検し、必要に応じて交換すること。</p>	✓ ✓	✓ ✓		
<b>お掃除</b>	✓		✓	

# トラブルシューティング ガイド 機械構造

車いすが右に曲がる	車いすが左に曲がる	曲がるのが遅い パフォーマンスが悪い	キャスターのふらつき(フラッター)	キーキー音とガラガラ音	車いすのゆるみ	解決方法
✓	✓	✓	✓			タイヤの空気圧が適正か、均等か確認する
		✓	✓	✓	✓	キャスターステムナットの緩みを点検する すべての固定具がしっかりと固定されているか確認する
				✓	✓	スポークとニップルの張りを確認する
✓	✓		✓			両方のキャスターが同時に地面に接触していることを確認する

## 警告：

調整後は、車いすを使用する前に必ず部品が正しく締め付けられていることを確認してください。フレームに取り付ける金具は締めすぎないこと。これはフレームの損傷の原因となります。

# メンテナンス

## 推奨されるメンテナンス手順

1. RGK 車いすを使用する前に、すべてのナットとボルトがしっかりと締められていることを確認してください。すべての部品に損傷や摩耗がないか確認し、必要に応じて交換してください。すべての部品が適切に調整されているか確認してください。
2. クイックリリース/クアドリリース式 車軸ピンは、汚れが付着しないように保ち、確実なロックと正常な動作を確保してください。この取扱説明書の手順3で、クイックリリース式 車軸ピンまたはクアドリリース式 車軸ピンの調整を参照してください。
3. クイックリリース式 車軸ピンを月に1回清掃し、磨いてください。- 油は差さないでください。
9. シートの張地が垂れ下がっていないか、破れや裂けがないか確認してください。必要に応じて調整または交換してください。
10. 座シートは、フレームの周囲にあるベルクロストラップで固定されています。座シートの下にあるストラップを緩めることで、シートカバーをフレームから簡単に取り外すことができます。座シートの取り付けについては、本取扱説明書の手順2をご覧ください。
11. 背もたれの張地は、カバーを緩めて外し、中央のパッドとウイングを取り外すことで取り外せます。手順1 背布の調整/交換 をご覧ください。
12. シートと背もたれの張地を、清潔な湿った布で拭き取ってください。車いすは、ご自身の快適さと車いすの寿命を延ばすためにも、清潔に保つことが重要です。フレームを研磨剤の入っていないの洗浄剤で清掃してください。

## 警告 :

適正なタイヤ空気圧(P.S.I)でなければ車いすを使用しないでください。タイヤに空気を入れ過ぎないでください。これらの指示に従わないと、タイヤが破裂して人体に危害を及ぼす恐れがあります。

4. 推奨タイヤ空気圧は、タイヤの側面に表示されています。
5. タイヤとホイールは、定期的にはひび割れや摩耗の有無を確認し、必要に応じて正規販売店にて交換してください。
6. 後輪のスポークが緩んでいないか、定期的を確認してください。緩んでいる場合は、お近くの正規販売店でご調整ください。
7. ハンドリムが後輪にしっかりと固定されていることを定期的を確認してください。本取扱説明書の手順5で、ハンドリムの交換を参照してください。
8. 定期的にキャスターのベアリングを点検し、清潔で湿気がないことを確認してください。この取扱説明書の手順7に従って、前輪のキャスターホイールを交換してください。

## 注意 :

フレームと張地は、定期的に清掃し、消毒することをおすすめします。

車いすは、直射日光の当たらない、涼しく乾燥した場所に、元の梱包材に入れて保管してください。

## 警告 :

1度しか使用できない留め具の再利用はしないでください。詳細については、お近くの正規販売店までお問い合わせください。

## 警告 :

RGKの純正部品のみを使用してください。RGKが承認していない第三者の部品は絶対に使用しないでください。

# 手順 1

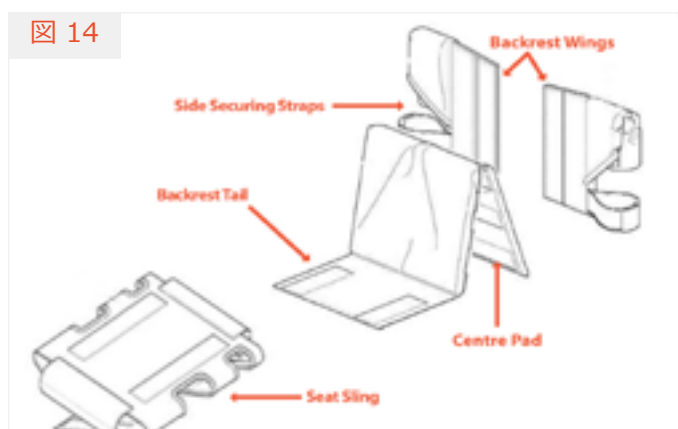
この手順には、以下の内容が含まれます：背布の調整/交換

背もたれの張地は、中央のパッドの下にあるベルクロストラップまたはベルクロ固定ウイングを調整することで、個別に調整可能です。

## 背布の調整/交換

背布を取り外すには、クッションを取り外し、背もたれの尾部をシートスリングから外し、側面の固定ストラップを緩めて、張地をまっすぐに持ち上げて外します。

上記の逆の手順で再装着してください。図 14 参照



張力を調整するには、後方(RGKロゴの側)からセンターパッドを引き上げます。サイドウイングの位置を調整して張力を増減し、センターパッドをしっかりと再取り付けます。張り調整式背布は、ストラップで張力を調整できます。図16をご参照ください。



図 16

## △ 警告：

フットレストの位置、キャンバーチューブ、後座高、そして背もたれの張り具合は、車いすの安定性に直結します。この4つのうち、どれか1つ、あるいはどれか1つの組み合わせを変更すると、車いすの安定性が低下する可能性があります。新しいシートポジションを初めて使用する際は、細心の注意を払ってください。

## △ 注意：

張地についているベルクロは、何かに密接に触れると、ほかの物に傷や破損を引き起こす恐れがあります。

# 手順 2

この手順には、以下の内容が含まれます： シートクッションの交換、座シートの交換

## 座シートの張替え

1. シートスリングからシートクッションと背布の尾部を外します。図 17 参照
2. 車いすの後輪を取り外します。
3. 車いすフレームに固定している座シートの固定用フラップを外します。図 18 参照
4. ベルクロストラップをはがして、既存の座シートを取り外します。
5. 新しい座シートを取り付け、固定用フラップが車いすフレームの左右にかかっていることを確認してください。
6. 固定用フラップの前側をクロスフレームバーの前面に配置し、しっかりと固定してください。
7. 残りの固定用フラップを確実に固定してください。
8. 後輪を再度取り付けます。手順 3 参照
9. 背布と座クッションを車いすに戻します。本取扱説明書の手順1の背布の調整を参照してください。

図 17

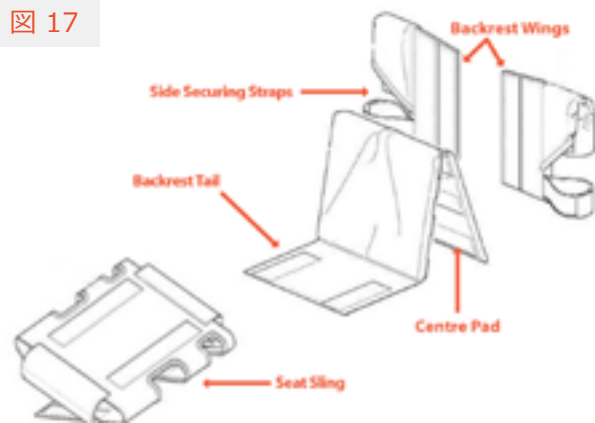


図 18



# 手順 3

この手順には、以下の内容が含まれます：

後輪を取り外し、車いすに取り付けたり取り外したりします。したがって、ホイールは工具を使用せずに取り付けたり取り外したりすることができます。

## 後輪を取り外し、車いすへの着脱

クイックリリース式車軸ボタンは、車輪の中央ハブからわずかに突出します。

1. クイックリリース式車軸にあるディテントピン/RGKボタンを押します。車いすから車軸と車輪の両方を引き抜きます。  
図 20 参照
2. 反対側のホイールに対してステップ1を繰り返して実行してください。
3. 車いすに後輪を取り付ける場合。クイックリリース式車軸にあるディテントピン/RGKボタンを押し、クイックリリース式車軸ピンをキャンバーバーに入れます。車軸と車輪の両方を車いすに向かって押します。

図 20



## 警告：

後輪のサイズを変更すると、車いすの性能に影響を与える場合があります。  
後輪のサイズを変更する場合は、この取扱説明書の裏面に記載されている サンライズメディカルまでお問い合わせください。

## 注意：

車いすを操作する前に、後輪を引っ張り、クイックリリースアクスルのディテントピン/RGKキャップが完全に解放されていることを確認してください。

## 警告：

クイックリリース アクスル（車軸）ピン を調整する場合 - 車いすの両側のホイールをロックされていることを必ず確認してください。

後輪を取り付ける際は、確実に取り付けられていることを必ず確認してください。車いすを操作する前に、後輪を引っ張り、クイックリリースアクスルのディテントピン/RGKキャップが完全に解放されていることを確認してください。

リアホイール（後輪）を引っ張っても抜けないはずで

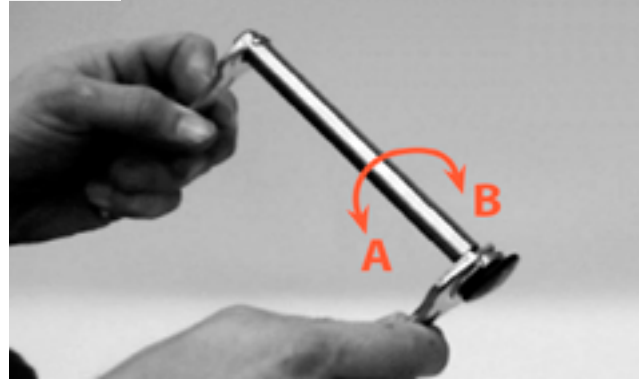
# 手順 4

この手順には、以下の内容が含まれます：クイックリリース式車軸ピンの調整

## クイックリリース式車軸ピンの調整

1. 車いすから後輪とクイックリリース式車軸ピンを取り外します。
2. クイックリリース式車軸ピンのデイトンピン/RGKボタンを押して、ホイールからクイックリリース式車軸を取り外し、車軸をホイールハブを通してスライドさせます。図 21 参照
3. デイトンピン/RGKボタンを放し、ロックピンが完全に解放されていることを確認してください。クイックリリース車軸の先端にあるロックナットを調整して、端の遊びを増減させます。図 21 参照
4. 後輪を車いすに再取り付けます。

図 21



A = 長くする B = 短くする

## 注意：

クイックリリース車軸は取り外し可能で、長さを調整できます。

## △ 警告：

クイックリリース アクスル（車軸）ピン を調整する場合 - 車いすの両側のホイールをロックされていることを必ず確認してください。

後輪を取り付ける際は、確実に取り付けられていることを必ず確認してください。車いすを操作する前に、後輪を引っ張り、クイックリリースアクスルのデイトンピン/RGKキャップが完全に解放されていることを確認してください。

リアホイール（後輪）を引っ張っても抜けないはず です。

# 手順 5

この手順には、以下の内容が含まれます：  
ハンドリムの交換；後輪、タイヤ、チューブの修理/交換；

## 警告：

ハンドリムが損傷した場合は、怪我の原因となるおそれがあるため、交換してください。

### ハンドリムの交換

1. デイテントピン/RGK ボタンを押して、車いすから後輪を取り外します。
2. バルブシステムの中央にあるピンを押して、チューブ内の空気をすべて抜きます。
3. タイヤ、チューブ、リムストリップを片側に慎重に保持しながら、六角穴付きネジを保持し、ハンドリムを後輪に固定しているロックナットを取り外します。
4. 既存のハンドリムを取り外します。
5. 上記の手順を逆にいき、新しいハンドリムを取り付けます。
6. タイヤの側面に表示されている正しい空気圧値までタイヤを空気で充填してください。
7. 後輪を車いすに再取り付けます。
8. 必要に応じて、反対側の後輪についても同じ手順を繰り返してください。

## 注意：

Spider または X-Core ホイールについているハンドリムを交換する際は、タイヤとチューブを取り外す必要はありません。

### 後輪、タイヤ、チューブの修理/交換

1. 車いすから後輪を取り外します。
2. バルブシステムの中央にあるピンを押して、チューブ内の空気をすべて抜きます。
3. バルブ固定リングを緩めて外します。(仏式バルブのみ)タイヤレバーを使用して、タイヤの外側のビードをホイールリムから外します。仏式バルブの場合のみ、バルブ固定リングを緩めて外し、チューブを取り出します。リムからタイヤを取り外します。タイヤ/チューブを取り付ける時は逆の手順を行います。
4. タイヤの側面に表示されている正しい空気圧値までタイヤを空気で充填してください。
5. 後輪を車いすに再取り付けます。
6. 必要に応じて、反対側の後輪についても同じ手順を繰り返してください。

## 注意：

リアホイール（後輪）またはタイヤを、車いすに元々取り付けられていたものとは異なるサイズのものに交換する場合、車いすの後部が上下し、バランスに悪影響を及ぼす可能性があることにご注意ください。詳しい情報は、お近くの販売店またはモビリティアドバイザーまでお問い合わせください。

## 警告：

タイヤは、分解作業を行う前に必ず空気を抜いてください。

## 警告：

タイヤは、完全に組み立てるまで絶対に空気を入れないでください。

## 警告：

車いすを操作する前に、クイックリリース車軸のデイテントピン/RGKボタンが完全に解放されていることを確認してください。

# 手順 6

この手順には、以下の内容が含まれます：キャンバーバーの調整 / 交換

キャンバーバーの調整 / 交換

この作業には5mmの六角レンチが必要です。

1. 車いすから後輪を取り外します。
2. 車いすフレームに調整可能なキャンバーバーを固定している六角ネジのみを緩めます。
3. 調整可能な車軸ポジション キャンバーバーを車いすフレームに沿って前後に移動して調整します。図 22ホイールベースを延長することで、安定性が向上し、車いすの標準的な操作性が維持されます。ホイールベースを短縮すると、操縦性が向上し、余分な重量が後輪に分散されます。

## 注意：

六角ネジが緩んでいて、調整可能なキャンバーバーが車いすのフレームに沿って自由に動くことを確認してください。車いすのフレームに傷がつかないようにしてください。

4. バックポストから調整可能な車軸ポジション キャンバーバーの取付ポイントを測り、調整可能なキャンバーバーが車いすフレームに対して90° になっていることを確認します。
5. 車いすフレームに調整可能なキャンバーバーを固定している六角ネジをしっかりと締めます。
6. 後輪を車いすに再取り付けます。
7. 使用前に車いすを動かして、どちらの側にも過度の引っ掛かりがないことを確認してください。

## 注意：

どちらかの側に引っ張られる場合は、車いすが正しく進むまで左記の操作を繰り返してください。

## △ 警告：

タイヤは、分解作業を行う前に必ず空気を抜いてください。

## △ 警告：

タイヤは、完全に組み立てるまで絶対に空気を入れないでください。

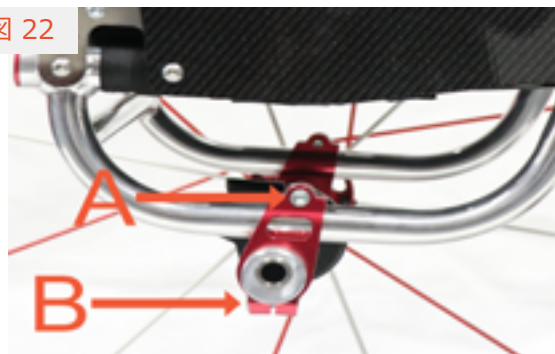
## △ 警告：

車いすを操作する前に、クイック/クアドリリス車軸のデイトピンが完全に解放されていることを確認してください。

## △ 警告：

フットレストの位置、キャンバーバー、背もたれの張り具合は、車いすの安定性に直結します。この3つのうち、どれか1つ、あるいはどれか1つの組み合わせを変更すると、車いすの安定性が低下する可能性があります。新しいシートポジションを初めて使用する際は、細心の注意を払ってください。

図 22



A = 後方/延長  
B = 前方/短縮

# 手順 7

この手順には、以下の内容が含まれます：  
フロントカスターフォークアセンブリーとカスターホイールの交換

## フォークアセンブリーの交換

1. キャップを取り外します。
2. フロントフォークアセンブリーを固定しているボルトとロックナットを取り外します。
3. 19mmソケットスパナを使用して、カスターハウジングを通して下方向にカスターフォークアセンブリーを取り外します。ワッシャーの順序に注意します。
4. 新しいフロントカスターフォークを取り付け、手順2から1までを逆順に組み立て直します。
5. 必要に応じて、反対側の前輪カスターに対して同じ手順を繰り返します。

## 前輪カスターホイールの交換

1. 4mmの六角レンチを2本使用し、カスターの車軸を固定している2本のネジのうち1本を外します。
2. カスター車軸をスライドさせて取り外します。カスターフォークからカスターホイールとスペーサーを取り外します。
3. 新しいカスターホイール、カスター車軸、およびスペーサーをカスターフォークに、ステップ1と2を逆の手順で取り付けます。

## 注意：

ベアリングの取り付けは、必ず正規販売店で行ってください。  
これを怠ると、その部品の保証が無効になります。

## 注意：

RGKは、車いすに元々使用していたサイズ以外のフロントカスターフォークや、カスターホイールに交換することを推奨しません。  
異なるサイズのカスターフォークやカスターホイールに変更することは、車いすの走行や利用者のバランスに悪影響を及ぼします。

# 手順 8

この手順には、以下の内容が含まれます：ブレーキの調整 / 交換

## 注意：

ブレーキを調整したり、他の種類に交換する前に、タイヤに表示されている推奨空気圧まで空気を入れてください。

### ブレーキの調整 / 交換

1. プッシュ/プル ブレーキの交換：図 24 参照 ブレーキをフレームに固定しているクランプ/プレートにある六角穴付きネジ2本を緩めます。ブレーキをクランプ/プレートからスライドして外します。新しいブレーキを逆の手順で取り付けます。
2. アンダーシートシザーブレーキの交換：プッシュ/プル ブレーキの交換と同様に行います。図 25 参照
3. 調整 - すべてのブレーキ：
4. ブレーキのタイヤ圧カバーは、ロック状態時に（空気式）タイヤに5～7mm沈み込む必要があります。車いすの車輪がしっかりとロックされるように調整してください。

## △ 警告：

調整、修理、点検の後、使用する前に、すべての取り付け金具がしっかりと締め付けられていることを確認してください。さもないと、怪我や破損の原因となります。

## △ 警告：

ブレーキで車いすを固定できない場合は、上記のように調整するか、販売店にご連絡ください。さもないと、怪我や破損の原因となります。

## △ 警告：

ブレーキは、車いすが静止しているときに機能するように設計されています。使用中はブレーキをかけないでください。タイヤ空気圧はタイヤに表示されている通りにしてください。

図 24



図 25

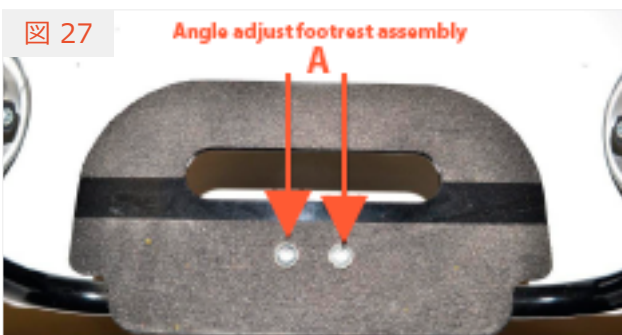


# 手順 9

この手順には、以下の内容が含まれます：フットレストの高さ/角度の調整および交換

## フットレストの角度を調整

1. 角度調整式フットレストの角度調整 図27に示すフットプレートの上にある2つのボタンヘッド六角ネジ「A」を緩めます。
2. 希望の角度になるまで回転させます。
3. 2つのボタンヘッド六角ネジをしっかりと締め付けます。



## フットレストの調整/交換

1. 車いすフレームにフットレストを固定している六角ネジを緩めます。
2. フットレストを取り外します。フットレストは均一な圧力で取り外します。
3. 既存のフットレストを取り外し、新しいフットレストを取り付けます。
4. 新しい/既存のフットレストを、希望の高さにポジションを合わせます。
5. 車いすフレームにフットレストを固定している六角ネジを締め付けます。

### △ 警告：

この車いすを使用する際、突起物にぶつからないようにするため、フットレストアセンブリーは地面や床から少なくとも40mm以上高くなければなりません。

### △ 警告：

フットレスト/フットプレートの上に立たないでください！ユーザーが車いすに座っている場合でも、転倒して怪我をする危険があります。

### △ 警告：

移乗する際は、フットプレートの上に立たないでください。転倒の危険があり、けがをするおそれがあります。

### △ 警告：

フットレストの位置、キャンバークラップ、後座高、そして背もたれの張り具合は、車いすの安定性に直結します。この4つのうち、どれか1つ、あるいはどれか1つの組み合わせを変更すると、車いすの安定性が低下する可能性があります。新しいシートポジションを初めて使用する際は、細心の注意を払ってください。

# 手順 10

この手順には、以下の内容が含まれます：バックサポート/フレームの展開/折りたたみ

## △ 警告：

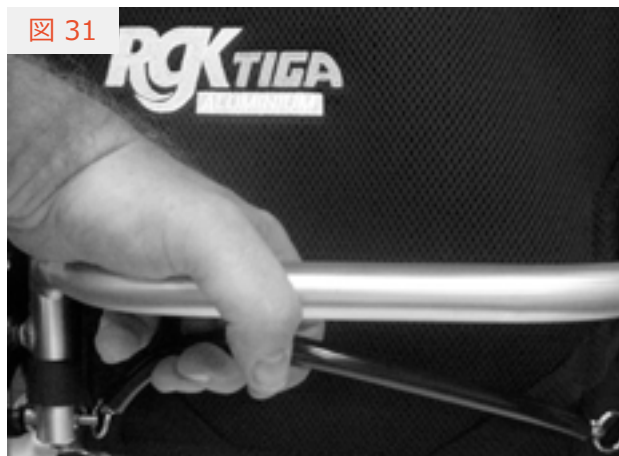
車いすを使用する前に、折りたたんだ背もたれを確実に元の位置に固定してください。

背もたれをコードサポートで折りたたむ

1. 背もたれを折りたたむには、コードサポートを握ります。
2. コードストラップをブレースバーの方向に引きます。図31を参照してください。これにより、両方のロックピンが解放され、背もたれが前方に倒れるようになります。
3. 背もたれをしっかりと押し下げ、ピンがロック穴に正しくはまることを確認してください。
4. 背もたれを展開するには、ステップ1、2、3の手順を逆に行います。ロックピンが確実に固定され、ピボットプレート内に正しく配置されていることを確認してください。

## △ 注意：

本製品には可動部があります。  
指が挟まる危険があります。



# 手順 11

この手順には、以下の内容が含まれます：高さ調整式プッシュハンドル、フォードダウン プッシュハンドル

## △ 警告：

取り外し可能な部品を持って、車いすを持ち上げないでください。例：ホイール

これには、高さ調整式プッシュハンドル、折りたたみ式プッシュハンドル、ネジ式プッシュハンドルも含まれます。

車いすの取り外し可能な部品を使って持ち上げると、あなたや介助者、および車いすに損傷を与えるおそれがあります。

### 高さ調整式プッシュハンドル

1. このタイプのプッシュハンドルを操作するには、図39に示すようにミニクイックリリースレバーを解放します。クイックリリースレバーを解放することで、プッシュハンドルの高さを調整することができます。
2. 希望の高さに達したら、ミニレバーを閉じてください。
3. レバーが緩んだ場合は、ミニリリースレバーのナットを締め直してください。（ミニリリースレバーのナットが、クランプの締め付け具合を決定します）

図 38



高さ調整式プッシュハンドル

### フリップダウン プッシュハンドル

プッシュハンドルを折りたたむには、必要に応じてボタン(2)を押してください。元の位置に持ち上げて戻し、ロックしてください。

図 39 参照

図 39

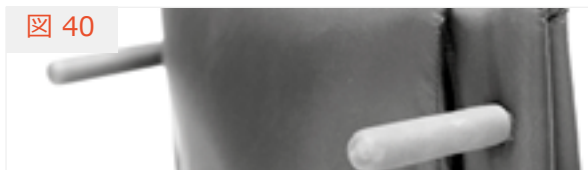


フリップダウン プッシュハンドル

### プッシュハンドル ねじ止め

これらのネジで固定されている部品は、ハンドルを時計回りに回して固定し、逆時計回りに回して取り外します。図 40 参照

図 40



プッシュハンドル ねじ止め

# 手順 12

この手順には、以下の内容が含まれます：転倒防止の調整

## 転倒防止の調整

これはスイングアウェイ転倒防止のみに適用されます。

1. 転倒防止ホイールを転倒防止バーに固定している解除ボタンを押します。図 41 参照
2. 転倒防止ホイールの高さを、地面から25mm～50mmの範囲に調整します。図 42 参照
3. 反対側の転倒防止は、手順1～2を繰り返します。

## 警告：

RGKは、車いす使用者の追加の安全装置として、転倒防止のご注文を強くお勧めします。

## 注意：

転倒防止は、完全に作動している必要があります。転倒防止の解除ボタンが、転倒防止ソケットの穴から完全に突出していることを確認してください。

左右の転倒防止が、同じ高さに調整されているか確認してください。

## 注意：

転倒防止を回転するのは、180度までのみです。360°回転させないでください。

## 注意：

転倒防止シングルは調整不可であり、製造前に高さの決定が必要です。図 44 参照

図 41



スイングアウェイ転倒防止は、クランプを使用して垂直バーに取り付けられます。

図 42



図 44



転倒防止シングルは、複数のネジを使用して車軸に固定されています。

# 手順 13

この手順には、以下の内容が含まれます：サイドガードとアームレストの固定/取外し

## サイドガード ねじ止め

サイドガードを固定するには、サイドガードをシートレールにねじ込んで固定します。図 45 参照

サイドガードを取り外すには、サイドガードをシートレールからネジを取り外します。

図 45



## 折りたたみ式 サイドガード 図 46

固定するには

1. サイドガードをピボットアームにねじ止めします。
2. ピボットアームをシートレールに設置された既製クランプに下げて固定します。
3. ピボットアームをクランプに下ろし、ボルトで固定します。

取り外すには

1. ピボットアームをクランプから外します。
2. ピボットアームのネジを外します。

図 46



## 着脱式 サイドガード 図 47

固定するには

1. 固定ポストをサイドガードにねじ止めします。
2. 固定ポストをシートレールに付いている既製のホルダーにスライドさせて差し込みます。

取り外すには

1. サイドガードを既製のホルダーから取り外します。
2. サイドガードから固定ポストのねじを外します。

図 47



## フリップバック サイドガード 図 48

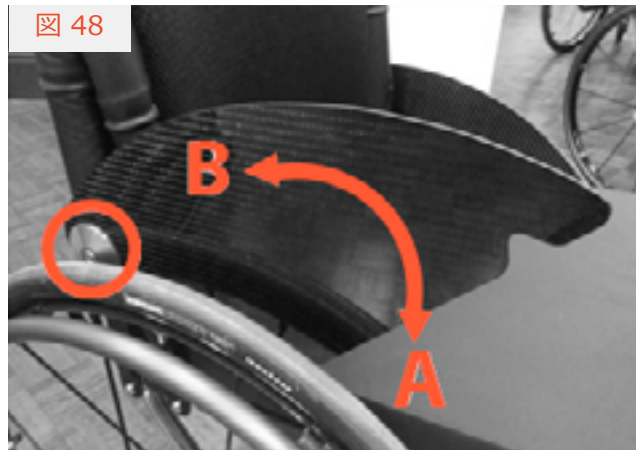
固定するには

1. サイドガードは、マッシュルームボルトを使用してバックレストのフレームに事前組み立てされます。
2. サイドガードをAの方向に動かしてサイドガードを所定の位置に下ろし、Bの方向に動かしてサイドガードを所定の位置から持ち上げます。

取り外すには

1. サイドガードのネジをバックレストフレームから外します。

図 48



### 高さ調節式アームレストの調整

1. 高さ調整レバー(1と2)を2番目の位置に回してください。
2. アームレストのパッドを上下にスライドさせて、必要な高さに調整します。
3. アームレストに対して、レバーをロック位置に戻してください。
4. アームパッドを押し込み、上部アームポストがしっかり固定されるまで押し続けます。

### 溶接式サイドガード

RGK車いすには、取り外し不可能な溶接サイドガードもご用意しており、お客様の車いすにあらかじめ取り付けしておくこともできます。

## **警告：**

RGK Wheelchairs は、ラップベルト/ストラップを固定手段として使用する車両による人の輸送を推奨していません。ユーザーは、車両のシートシステムと固定装置に移る必要があります。

## **注意：**

本製品には可動部があります。  
指が挟まる危険があります。

# 製品仕様(技術的データ)

内容	最小	最大
レッグレストを含む全長 (ホイールなし)	400mm	700mm
全幅 (シート幅)	250mm	440mm
折りたたみ時の高さ (フォールディングバック使用時のみ)	500mm	700mm
総質量 (ホイール付き)	5.5 kg	12 kg*
最重量部の質量 (輸送時の重量)	3.5 kg	10 kg*
下り坂での静的安定性	なし	14.1° の傾斜
上り坂での静的安定性	なし	10.2° の傾斜
横方向の静的安定性	なし	11.5° の傾斜
シートプラン角度	0°	45° ティルト
有効シート奥行	250mm	440mm
前座高	380mm	520mm
背角度	-10° ティルト	20° ティルト
バックレスト高	150mm	400mm
フットレストからシートまでの長さ	200mm	520mm
脚から座面までの角度	角度 70°	角度 90°
アームレストからシートまでの長さ	150mm	300mm
アームレスト構造の前方位置	なし	なし
ハンドリム径	24インチ	26インチ
車軸の水平方向の位置	25mm	125mm
最小回転半径	270mm	なし

\* 重量 第三者製のアイテム除く

寸法は製造上の許容誤差に従います。

アイテム	トルク
バックレスト回転プレート	10Nm
ブレーキ	10Nm
キャンバーバー	10Nm
フットレスト調整高さ	10Nm
その他すべてのアイテム	10Nm

## 注意：

RGK Wheelchairs Ltd. 製の車いすはオーダーメイドのため、お客様の車いすが上記のサイズより下回る、または上回る可能性があります。

### リサイクル(再利用)/廃棄

車いすを再利用する前に、入念な準備が必要です。使用者と接触するすべての表面は、洗浄し、消毒スプレーで処理しなければなりません。

次のセクションでは、当社の車いすに使用されている素材について説明します。

**アルミニウム：** キャスターフォーク、ホイール、サイドガード、アームレスト、フットレスト、ハンドリム、転倒防止、フレーム、フットプレートカバー

**スチール：** 固定箇所、クイックリリース アクスル（車軸）ピン、フットレスト、転倒防止、フレームホイール、留め具、ブレーキ、フットプレートカバー

**チタン：** キャスターフォーク、クイックリリースアクスル（車軸）、留め具、サイドガード、転倒防止、フレーム、フットレスト

**プラスチック：** ハンドル、チューブ留め、キャスター、フットプレートカバー、アームパッド

**梱包：** ポリエチレン製ビニール袋、段ボール

**生地製品：** ポリエステル織物、綿、皮革



廃棄またはリサイクルは、廃棄業者または公共の廃棄場で行ってください。

# 保証

この保証は、お客様の法的権利に何ら影響を与えるものではありません。  
サンライズメディカル\*は、保証条件に定めるとおり、車いすをご購入いただいたお客様に対し、以下を対象とした保証を提供します。

## 保証条件

1. 車いすの部品やパーツが、製造上および/または材料上の欠陥により、お客様への納入後24ヶ月以内、フレームおよびクロスブレイスについては5年以内に修理または交換を必要とする場合、当該部品またはパーツを無償で修理または交換いたします。(バッテリーは、正しいお手入れ方法に従うことを条件に、12ヶ月間保証されます)
2. 保証を履行するためには、問題の内容を正確に把握した上で、サンライズメディカルカスタマーサービスにご連絡ください。サンライズメディカルカスタマーサービスの営業地域外でお客様が車いすを使用される場合、修理または交換はメーカー指定の他の代理店でも行います。車いすの修理は、必ずサンライズメディカル指定のカスタマーサービス代理店（販売店）にて行ってください。
3. 本保証の範囲内で修理・交換した部品については、当社は1)に基づき、車いすの残りの保証期間について、本保証約款に基づく保証を提供します。
4. お客様の負担で取り付けられた純正交換部品については、この保証条件に従って、（取り付け後）12ヶ月の保証が提供されます。
5. パッド、タイヤ、インナーチューブなどの消耗部品は、その部品の早期摩耗が製造上の欠陥による直接的なものである場合を除き、保証の対象外となります。
6. 以下の理由により、車いすまたは部品の修理または交換を必要とする場合、本保証の請求はできません：
  - 製品または部品が、取扱説明書および/またはサービス指示書に示された製造者の推奨に従って保守またはサービスされていない場合。
  - 純正付属品として指定されていない付属品が使用されている場合。
  - 放置、事故、不適切な使用により車いすまたは部品が損傷した場合。
  - 車いすまたは部品に製造会社の仕様から逸脱した変更や改造が行われた場合。
  - 弊社カスタマーサービスに連絡する前に修理が行われた場合。
7. この保証は、製品をサンライズメディカルから購入した国の法律の適用を受けます。  
\* 製品を購入したサンライズメディカルの拠点を意味します。

車いすの機種名およびシリアル番号（キャンバーバーに貼付のステッカーに記載）をご確認の上、弊社までご連絡ください。例えば、交換部品を注文したい場合など；お客様が所有されている車いすを確認し、その車いすに適した代替品をご提案いたします。

車いす機種：	シリアル番号：

Sunrise Medical  
 Thorns Road  
 Brierley Hill  
 West Midlands  
 DY5 2LD  
 England  
 TEL : 0845 605 66 88  
 Fax: 0845 605 66 89  
[www.SunriseMedical.co.uk](http://www.SunriseMedical.co.uk)



Sunrise Medical S.p.A.  
Via Fiera, 20 - Montale  
53122 Pisa  
Italia  
Tel.: +39 (0)525 575121  
Fax: +39 (0)525 575160  
www.sunrise-medical.it

Sunrise Medical AG  
Ludwigsplatz  
3074 Muri/Bern  
Schweiz / Suisse / Svizzera  
Tel.: +41 (0)31 955 3000  
Fax: +41 (0)31 955 3040  
www.sunrise-medical.ch

Sunrise Medical AS  
Dynamivøien 14B  
1400 SKI  
Norge  
Tel.: +47 (0)22 65000  
Fax: +47 (0)22 65000  
www.sunrise-medical.no

Sunrise Medical AB  
Box 1222  
400 08 Gagnef  
Sweden  
Tel.: +46 (0)21 749 37 00  
Fax: +46 (0)21 749 37 37  
www.sunrise-medical.se

MEDICO s.r.l.  
R. F. Park Harford 1013/110  
525 01 Bino  
Czech Republic  
Tel.: +420 (0)47 250 956  
Fax: +420 (0)47 250 956  
www.medico.cz  
info@medico.cz  
Bezplatna linka 800 990 800

Sunrise Medical ApS  
Park Allé 239 G  
DK-2805 Brøndby  
Tlf: +45 44 45 45  
Email: info@sunrise-medical.dk  
www.sunrise-medical.dk

Sunrise Medical Pty Ltd  
6 Healey Circuit, Huntingwood  
NSW 2148  
Australia  
Tel: +61 (0)2 9578 9999 Admin  
Fax: +61 (0)2 9578 9999  
www.sunrise-medical.com.au

Sunrise Medical  
Medizinisches Zentrum  
2222 Business Park, Langen  
Frankfurt, Germany 65251  
Tel: +49 (0)69 2512  
www.sunrise-medical.com



Sunrise Medical GmbH & Co.  
KG Kahlbachring 2-4  
69254 Malsch/Heidelberg  
Deutschland  
Tel.: +49 (0 )7253 /980 -0  
Fax: +49 (0 )7253 /980 -222  
www.SunriseMedical.de



本社住所…

RGK Wheelchairs  
Unit 8 A/B/C Ring Road  
Zone 2, Burntwood  
Industrial Estate,  
Burntwood, Staffordshire,  
WS7 3JQ, UK  
Call: +44 (0 )1543 670 077  
Email: info@rgkwheelchairs.com



**サンライズ メディカル ジャパン 株式会社**  
〒349-1145  
埼玉県加須市間口456番地1

email : info@sunrisemedical.jp  
https://sunrisemedical.jp/